

あぷろうち

～ approach ～



日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）

〒379-2166
群馬県前橋市野中町361番地の2
（群馬県勤労福祉センター2F）
TEL.027-263-0555（代）
FAX.027-261-0549
Eメール：info@gunma.jtuc-rengo.jp
URL：http://www.rengo-gunma.gr.jp/

発行人 清村宗一
編集人 中川文蔵

2003年9月号
No.133

職場や地域で 平和運動に取り組もう!!

広島・長崎の心を世界へ!!

平和行動in広島

今年も、8月5日（火）～6日（水）の2日間にかけて、「連合平和行動in広島」が開催されました。

連合群馬派遣団として、全労金の小此木社会貢献活動推進委員を団長に、電機連合・自治労・JAM・電力総連・情報労連・JEC連合の各産別から選出された16名の団員のみなさんが、真夏のまぶしい日差しを浴びながら、暑い暑い広島を体験してきました。

はじめに、広島平和記念公園で行われたピースウォークでは、連合広島のスタッフから平和のモニュメントに込められた「平和への想い」の説明を受け、その後平和記念公園周辺を案内してもらいました。参加した団員たちは熱心に聞き入り、平和への想いを新たにしました。



▲原爆ドームを背に記念撮影（連合群馬派遣団）

▼原爆ドーム前で連合広島のスタッフによる説明を聞く団員



▲原爆の子の像は佐々木禎子さんの死をきっかけに作られた

▲折り鶴を風雨から守るため強化ガラスで保護

平和行動in長崎

台風10号が西日本に迫り来る8月8日（金）～9日（土）、「平和行動in長崎」が開催され、連合群馬を代表して、中川副事務局長が参加しました。

8日（金）、台風の直撃は免れたものの、その影響が残る長崎公会堂で開催された2003平和ナガサキ集會では、「原爆投下から58年が過ぎた今なお、その傷は癒されない。しかし、時間だけは刻々と過ぎ去ってゆく。この悲惨な体験を、戦争の事実を風化させてはいけない。被爆した人たちから語られる平和への想いを、今を生きる私たち全員の手で後世に語り継ごう!」との思いを参加者全員が確認し合いました。

9日（土）は、打って変わって快晴・猛暑の中、平和記念公園において、原爆犠牲者慰霊平和記念式典が開催されました。58年前のあの日と同じ11:03には、広島市から贈られた平和の鐘が打鐘

午後5時から、2003年平和ヒロシマ集會が広島厚生年金会館にて行われ、子どもたちによるリズムカルな手話ダンスから始まり、黙祷、各地方連合会および構成組織による折り鶴の献納、連合笹森会長による主催者挨拶、ピースメッセージ、ピースリレー[連合広島→連合長崎]、広島からのアピールなどが行われました。

平和集會終了後は、広島平和記念公園・原爆ドーム周辺に移動し、各自が点灯したペンライトをかがげながら、被爆者の鎮魂と世界の恒久平和を求める灯火行動（ピースキャンドル）を行いました。

翌6日には、広島市主催の「原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」に参加し、核兵器のない平和な世界を実現するため、職場や地域での平和運動を構築しよう!!と胸に誓い合いました。

され、亡くなった方々への哀悼の意と平和への願いが響き渡りました。

原爆や戦争を体験していない私たちにも出来る事があります。それは、平和の大切さや命の尊さを未来につないで行く事です。自分たちの手で!



▲平和集會で挨拶に立つ笹森会長

▼平和の折り、千羽鶴

